

平成29年 豊後大野市教育委員会 12月定例会 議事録

1 開催日時

平成29年12月25日(月曜日) 午前9時28分開会 午前11時49分開会 (2時間21分)

2 開催場所

豊後大野市役所 2階 教育委員会室

3 出席者

委員 4名中4名出席

(出席委員等)

教育長 下田 博
1番委員 佐藤 良治 (教育長職務代理者)
2番委員 藤居 あや
3番委員 衛藤 恵子
4番委員 衛藤 栄一

(欠席委員) なし

事務局 4名出席

教育総務課長 萩原 憲士
学校教育課長 山田 忠司
社会教育課長 廣瀬 宏一
学校給食共同調理場長 衛本 浩二

書記 1名出席

教育総務課 課長補佐兼総務係長 麻生 正文

4 付議事項等

協議事項 平成30年度 豊後大野市教育方針について

議事案件

議案第47号 豊後大野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について

議案第48号 平成29年度 豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

5 会議の概要

○出席者報告

萩原教育総務課長	おはようございます。 それでは、委員の皆さまお揃いですので、出席者の報告をさせていただきます。出席委員(4)名・欠席委員(なし)・そして教育長と教育委員会事務局(4)名の出席であります。 それでは、あとは 教育長よろしく願いいたします。
----------	--

1 開会

下田教育長	(時候のあいさつの後) それでは、ただいまから平成29年12月豊後大野市教育委員会定例会を開会いたします。 (午前9時28分開会)
-------	--

2 前回議事録の承認

下田教育長	最初に 会議規則第6条第1項第2号の規定に基づき 11月29日開催の11月定例会 の議事録の承認を求めます。 議事録につきましては、事前に送付され、委員各位もご覧のことと思います。つきましては、事務局からの説明を省略し、承認手続を行います。 議事録について、ご質問等を受けたいと思いますが、何かございますか。
全委員	(「ありません」の声)
下田教育長	ご質問等がないようですので、11月定例会の議事録を承認することに、異議ありませんか。
全委員	(「異議なし」の声)
下田教育長	異議なしと認め、承認します。

3 議事録署名委員の指名

下田教育長	続いて、会議規則第17条第2項の規定に基づき、本会議の議事録署名委員の指名を行います。1番 佐藤 良治 委員を指名します。よろしくお願いします。
佐藤委員	はい。(了承)

4 会期の決定

下田教育長	次に、会期の決定であります。付議事項等を勘案いたしまして、本日一日限りといたしたいと思っております。異議ありませんか。
全委員	(「はい、異議なし」の声)
下田教育長	本日の付議事項等は 協議事項1件と議事案件2件の計3件です。 協議事項は、平成30年度 豊後大野市教育方針について です。 議事案件は、 議案第47号 豊後大野市教育委員会行政組織規則の一部改

	正について 議案第48号 平成29年度 豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について です。よろしくお願いします。
--	---

5 諸報告

(1) 教育長報告

下田教育長	諸報告に入ります。まず(教育長報告)、私からの方からの報告をさせていただきます。よろしくお願いします。 (教育長が平成29年12月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする) 〔平成30年度の教育方針についての詳細は、協議事項にて説明する旨の話があった。〕
下田教育長	教育長報告が、終わりました。ただいまの教育長報告について、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いします。
全委員	(声なし)
下田教育長	よろしいですか。
全委員	(「はい。」の声)

(2) 各課報告

下田教育長	それでは、各課報告に移ります。 各課の主要な報告を順次、簡潔にお願いします。はじめに、教育総務課長をお願いします。 (萩原教育総務課長が平成29年12月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
下田教育長	では、続きまして 学校給食共同調理場長 お願いします。 (衛本学校給食共同調理場長が平成29年12月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
下田教育長	では 続きまして 学校教育課長 お願いします。 (山田学校教育課長が平成29年12月豊後大野市教育委員会定例会資料・ <u>追加別紙資料</u> により報告をする)
下田教育長	それでは 社会教育課長 お願いします。

	(廣瀬社会教育課長が平成29年12月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
下田教育長	各課の報告が終わりました。それぞれの課の報告に対して、ご質問・ご意見を受けたいと思います。順番にいきますのでお願いします。 まず、教育総務課の報告について、ご質問等ございますか。
佐藤委員	よろしいですか。
下田教育長	はい、どうぞ。
佐藤委員	12月12日の所ですが、議会定例会の下に「試験委員会」とあるのですが、これが少し分からないのですが、議会の中なのか、そこの意味が少し分からないものですから。
萩原教育総務課長	申し訳ございません。 議会定例会(議案質疑)の下に試験委員会とありますが、この試験委員会は市の総務課の職員採用の内容を決定したりする委員会です。教育長が委員として、この委員会に参加しておりますので、ということで試験委員会として載せさせていただきました。
佐藤委員	よく分かりました。
下田教育長	私の業務と教育総務課の業務分を間で分けた方が、分かりやすいかもしれませんね。 他にございますか。
全委員	(声なし)
下田教育長	教育総務課の分は、よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	次に、学校給食共同調理場の報告について、ご質問等ございますか。
衛藤恵子委員	いいですか。
下田教育長	はい、どうぞ。

衛藤恵子委員	給食費の特別滞納整理ってあるんですけど、何件ぐらいあって、どれぐらいの回収率とかはわかりますでしょうか。
衛本学校給食共同調理場長	今回資料は持っていないんですけど、回るのは教育総務課の職員8名で、市内の滞納の方40件ぐらいをA・B・C・D班に分かれて回るということでもあります。給食費の収納率が、昨年度の収納率が97.89%ですか、98%に行かなかったということで、現在の時点では99%になっているのですが、豊後大野市は収納率が良くないので、毎年この時期に収納対策で戸別訪問をしております。特に悪い案件等については、通常でも滞納整理は行っているんですけど、この時期に集中して、新規の方等を増やさないような対策で、職員で回ることにしています。
萩原教育総務課長	12月20日から特別滞納整理対策を始めたということで、1月の12日までですので、まだ全て回っていないので、いくら回収したというのはまだ出ていないのです。滞納整理には行くんですけど、直接現金をいただくというのはなかなか難しいので、もらえない場合には次の手立て等を相談するような状況が多いというところですよ。結果としてはまだありません。
衛藤恵子委員	そうですね。時期的に、日にち的にそうかなとは思いますが。ご苦労様です。よろしくをお願いします。
下田教育長	給食の滞納状況についての資料は、以前教育委員さんに配りましたかね。
衛本学校給食共同調理場長	決算報告のときに…。
下田教育長	いただいていますかね。現状の滞納の金額、それ及び累計の状況。配っていないですよ。
藤居委員	特にそれだけっていうのはないと思います。
下田教育長	これは、今度、状況を、この滞納の整理の期間がありますので、次回現状をきちんと、もし内容的にオープンにできないようなものは後で回収していただければいいと思いますので、出せる資料を整理して、今の状況を説明してください。
衛本学校給食共同調理場長	はい。分かりました。
衛藤栄一委員	あと、いいですか。 その資料は金額だけでなく、例えば悪質事例とか、理由があつての滞納なのかとか、どういう理由でというのが分かれば、担当者の方で分かれば教えていた

	<p>だきたいかなと思います。確実なものでなくて、こういう例で払えてないのですというのも教えていただくとありがたいです。資料としてありがたいかと思います。</p>
下田教育長	<p>まあ、可能であれば、相談してください。</p>
衛本学校給食共同調理場長	<p>はい。</p>
下田教育長	<p>経験上、通帳の残高不足で督促状が発送される場合があると思います。給食費の引き落とし口座が、通常の給与振込口座でない場合にはそういうことがあると思います。現状、教職員の中にもそういう例があるかもしれませんので、教職員の滞納分があればその辺も含めて情報がもらえれば出してください。他に学校給食共同調理場で、ございますか。</p>
全委員	<p>(声なし)</p>
下田教育長	<p>よろしいですか。</p>
全委員	<p>(「はい」の声)</p>
下田教育長	<p>それでは、次に学校教育課の報告について、ご質問等ございますか。</p>
衛藤栄一委員	<p>いいですか。</p>
下田教育長	<p>はい、どうぞ。</p>
衛藤栄一委員	<p>フッ化物洗口についてですけど、自分も子どもの学校で説明を聞かせていただいたんですけど、ネットの偏った意見で踊らされているのではないかなと思われる意見が出たのですが、危険性とかも。確かに、ネット上にある情報は全て正しい訳ではないので、一応継続してその方々にも安全性なりを言っていく手立てをしないと、エコとかネイチャーにとらわれている方がおられて、それは正しいことではあるのですけれども、どこまでが正しくてどこまでが正しくないかをその方々がいわれると、他の方々も引きずられていく雰囲気がありましたので、継続して安全性をうたっていくしかないなので、こういうものは。その辺についてはよろしくお願いします。</p>
山田学校教育課長	<p>はい。</p>
下田教育長	<p>そこは、予定がありますか。学校教育課長。</p>

山田学校教育課長	2月から来年度の同意書をいただくようにしております。その中では、それぞれの説明会の中で出された質問や意見を載せて、教育委員会ではこういう安全対策を取りますということを出しながら毎回お伝えしていきたいと思っております。
下田教育長	マニュアルの原案は、いつ教育委員会に提示してもらえますか。
山田学校教育課長	担当者の段階では、マニュアルの見直しはほぼできましたので、1月の教育委員会定例会では提示して、2月には学校に提案したいと考えております。
下田教育長	はい。そのときに、よろしく願います。 学校教育課について他にございますか。
全委員	(声なし・「ありません」の声)
下田教育長	よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	はい、それでは、社会教育課の報告について、ご意見等ございますか。 説明はいいのですが、内容の資料提示が不足していると思うのです。皆さん。教育委員さんが具体的に内容を知っているわけではないので、知らせる項目については、例えばワークショップをやりましたということではなくて、廣瀬社会教育課長、ワークショップの内容でよいA4で2枚の資料、会場で出されていたものですが、あのような資料を提示してもらおうと、ワークショップでどのようなものが出されたかということになるので。それから図書館の答申が来年1月26日に出される予定なのですが、概略でもこういう方向で答申が出されそうだとすることがあれば、今度の教育委員会の時に間に合っていれば、そのまま答申が出せると思えますけど、そういう資料準備をしてください。スポーツ推進計画も今度素案ができるということなので、市民の方にパブリックコメントをいただくということですが、その前に、原案を含めて教育委員さんに提示をする中でご意見をいただくようにしておかないと、市民の皆さんの方が詳しいということになると、本末転倒なことになってしまうので、もう少し教育委員さんに対する資料提示を、これは他の課も同じです。そういう形で配慮しないと、教育委員会制度が変わる中で、事務局が一方的に進める危惧があるので、この前の議会でも指摘されているので、是非教育委員さんに資料の提示ができるものは可能な限り、他の課も同じようにしてください。
廣瀬社会教育課長	はい、分かりました。

下田教育長	12/9のスポーツ少年団交流大会(スポーツ玉入れ)とインフルエンザの関係について、一応教育委員さんにお話してください。
山田学校教育課長	なかなか、関連性については定かではないのですが、インフルエンザの発症の時期がスポーツ玉入れの後ということで、学校の捉え方としてはやはりあの時期に集団でということが状況としてはありそうです。今回会場が三重第一小学校の体育館で、狭い会場にたくさんの人が集まったので、例年は大原総合体育館で広い会場で、天井も抜けている所だったのですが、そういうところもあったのかと思います。会場的なものはありますが、時期的なことも今後検討課題としなければならないと認識しております。
下田教育長	はい、それとですね。就学支援の認定について学校教育課長から別途提案がありますが、かなりの件数になっていて、背景を含めてこれも資料提示をしながら、何人実際に全体として、もう少し資料提示をして教育委員さんに説明をするように努力してください。 その他委員さん何かありませんか。詳しいものを求めたいときには、意見を出してください。 よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	はい。 それでは各課の報告には質問はないようですので、次に移りたいと思います。

6 付議事項等

○協議事項 平成30年度 豊後大野市教育方針について

下田教育長	協議事項に入ります。 協議事項については、説明のため 学校教育課 指導主事の同席を認めます。(指導主事 入室) 協議事項について、学校教育課長並びに指導主事の説明を求めます。お願いします。 (学校教育課長が平成29年12月 豊後大野市教育員会定例会資料[P1 教育長報告]により説明) (日浦指導主事が、パワーポイント[印刷した同資料]を使用し説明)
下田教育長	せっかくの機会ですので、指導主事同席のもとで質問等があれば受けたいと思います。短時間の中でご質問等は難しいかもしれませんが、帰ってからゆ

	<p>っくりご覧になって以後の会議の中でもよいのですが、今の時点で特に何か来年度の方向についてございましたらお願いします。</p>
<p>衛藤栄一委員</p>	<p>いいですか。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>衛藤栄一委員</p>	<p>私、こちらに帰ったときに、子ども達が夢を持っていないことにびっくりしまして、子どもに接するときに「将来何になりたいの。」って聞いて接していたのですが。(職場体験)受入側としては、よく聞く話では、どこまで何をさせていいか分からない。先生達が、これをさせてください。ここまでさせてくださいとか、受入側としては何でもさせていいのかって話しなのです。うちの車検工場を受入れた際に、道具を使わせていいのか、何をさせていいのか。そのとき私が思ったことは、先生はなぜ来ないのだろうか。まず、先生がまず事前に1日来て、ここまでさせてくださいっていうのが、極小的な意見です。それと、先生自体が、気分的に乗っていない人が多いというか、局面で、さっきもいいましたが、すればいいのでしょって感じなんです。この機会で、子ども達にどう学習させるかという意欲がないっていうか、熱が無いっていうか、という感じなんです。やる気のある先生はすごいんですけど、温度差が激しい状況です。せめてポジティブに、その職場の人と話し合っ、例えば車検工場を受入れるんですけど、洗車作業してみたり、ネジを外してみたり、道具を使わないとその面白味が無いです。本当に面白い所は、危険が伴ったりすると、させていいの判断も現場の人間は教育者ではないので、そこら辺も事前に行って、ちゃんと調査をして、ここまでさせてくださいとか、ここまでやったら楽しいのですよとか、本当は担当者としては「ここまでやったら楽しいですよ。」って言いたいのですけど、人間的にコミュニケーションがないので、預かるからにはケガをさせてはいけないし、昼食は時間通りに食べさせて、時間通りに帰さないといけないっていうこちらの感覚です。企業側としての感覚です。リスクをどこまで負わせるのかという、そこまで考えていらっやらない気がします。そこは、グッと事前に行って、できることなら一緒にやっというのが理想なんですけど、これは難しいと思うのですが、欲ですけど。意見としてですが。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>職場体験のことですね。</p>
<p>衛藤栄一委員</p>	<p>はい、そうです。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>そういう狭い認識の中で、先生方が行事消化を行っているというのが、一番まずいということで、今回提案し直すということです。キャリア教育を中2の職場体験につなげるまでに、小学校1年からやりましょう、ということです。今は、中学校2年生におんぶに抱っこの状況で、先生方の意識にも温度差がある状</p>

況になっている。そこは、今度の方針の中で、詳しくいねいに説明するようにしてほしいと思います。(職場体験は)今は3日間ですが、できれば5日間にしたいと思っています。

衛藤恵子委員

私も受入れた経験があるのですが、衛藤栄一委員さんが言われたように、何が目的で、どういう経験をさせてあげたらいいのかということです。1日2日間はやっぱりその環境に慣れるのに必要で、子どもが思い切ってそこに飛び込んで来る状況に慣れるまでに時間がかかるのです。今、教育長が言われたように5日間というのは生徒の側にはメリットが大きいかなと思います。3日間では、終わりになってやっと馴染めかけたという感じの所があるし、それから後で学習のまとめという形で、お手紙をいただいたりとか、発表の場が学校であったりとか、そういうのも受入れた事業者も行って見るといことも受入側として知識というか学習ができるかなという思いをしたことがあります。

下田教育長

では、課題ですので。受け止めて、職場体験1つの提案をするときには、認識を持って提案してもらおうということで、よろしいですか。

山田学校教育課長

どうしても、職場体験に集約してきた所があって、小学校の教諭がそういう思いをもってキャリアについて教育の認識があったかということと本当にはないです。例えば修理工場に行って、なぜネジが右回転で締まるのかということの話しをしてもらっただけで理科の学びにつながったりするのですが、そういう学びにつながるものをキャリア教育の中、職場体験の中では広げていきたいという思いがあります。来年度はそこに関わって、先日市との協議の中で、学校と産業界をつなぐ1人のコーディネーターを配置して、その方と学校教育・学校教育課が連携しながら、目的意識を明確化しながら、カリキュラムも年々積み上げていきたいと考えているところです。

藤居委員

小学校の社会見学で、先日2年生と3年生が来たのですが、たてつづけにほぼ同じ時期に来たのですが、2年生と3年生では習っている内容とか子ども達が理解していることが違うと思うのですが、事前に先生にどうのことを教えたらいいいですかとか、最終的にどういう目標というか出来上がりの構図、2年生はここを知りたいとか、3年生はここを知りたいとか、同じ場所に来るのにたぶん課題が違っておみえになると思うのです。なかなか、そういうことをこちらから聞いても、それがうまく話せないというか、どうしてもお客さんの社会見学みたいになってしまって、最終的にどこにもって行きたいかで、こちらも主に説明する場所っていうのが決まってくると思うのです。どういう所に出荷しているとか、地域で何を作っていて、どこに行っているとか、話す内容が変わってくると思うのです。結局、同じことをして終わってしまうので、そういう所も事前にさせていただけると、こちらも説明し易いとちょっと思いました。

中学生の職場体験も来たのですが、先程と同じでお客さんになってしまっ

	て、向こうからの自発的なものはなかなかないような気がしました。
下田教育長	小学校の社会見学は、同じ小学校でしょうか。
藤居委員	はい、千歳小学校です。歩いて来られる所なので、多分、時間も決まっています、午前10時から12時ぐらいまでで、ちょうどいいのだと思うのです。その時間にみえて、後で聞いたところ2年生は「地域にあるまち探検」で、3年生もやっぱりまち探検なのだけれども発見の視点が違うという、千歳にあるものを調べようというものと千歳にあるよっていうのだけを知りたいというのかな、その辺の説明が、2年生が3年生になって来年来たときにどうすればいいのかなと思っています。
下田教育長	学校教育課長、是非一回これを例に出して、カリキュラムマネジメントの欠陥ですね。
日浦指導主事	まず、どの教科で、どのねらいで行くかということが、相手の方に伝わっていないというのが問題ですね。
衛藤栄一委員	そうですね。
日浦指導主事	私も社会科部会では、社会科は見学が重要なので、するときには事前に訪問して話して欲しいことなどの打ち合わせをするのですが、その前に行って農家の様子をこちらが学習させてもらった上で、教科のねらいがどういうところで達成できるかを考えて、ねらいを達成するためにこういう話しをしていただけませんかとかの打ち合わせをしていく中で、これもいいですよとかになるのかです。社会科を真剣勉強されている先生方が、その領域です。今回、キャリア教育を出したことで、先生方もキャリア教育を最終的に目標にすることで、一つ考えやすくなるのかなという気がしています。
藤居委員	子ども達からの質問はよくあるのです。子ども達の質問事項がいっぱい並んでいて、それをいただくのです。大体似たような質問で、両方とも同じような質問になってしまうので、それをどうまとめるのかの構図が、なかなかこちらも思い浮かばなくて、同じような内容に偏ってしまいがちなという反省点があるのです。
山田学校教育課長	願います側の問題ですね。
下田教育長	そういう教育が、体系的にできていないという、先程のご指摘のとおりなので、そういう認識を持ったうえで、提案をするということでしたので、酒造に関しては1年から6年まで学ぶ課程を1枚提案するように千歳小学校に言ってくださ

	い。こういう形で、酒造に関して学んでいきます。というのが、キャリア教育なのです。それは、絶対来年早々に作って出すように、言ってください。
日浦指導主事	カリキュラムマネジメントは、そういうことなのです。難しい言葉ですけど、簡単にいうとそういうことです。
衛藤栄一委員	社会教育課の「農楽校」の事業がありますが、最高に素晴らしいと思います。田舎のおじさんの子どもの頃の話から始まって、紐の結び方、田植えから全部やって、自分の子どもが全て話してくれるのです。おじさん達も自分の孫と年齢がかわらないので、見ていたらやっぱり頑張るのです。私は遠巻きに見て、できるだけ口を出さないようにしているのですけど。社会教育の「農楽校」のようなものをもうちょっと増やしていただいて、まさしく農業のキャリア教育なので、あの人達のやっていることを、現状では参加が少し悪いので、もう少し参加者がいてもいいかと思いますが。本当にいいかと、見させていただきました。
下田教育長	社会教育には、他の分野がまだまだいっぱいあるので、今回のキャリア教育の中に入れるように。
衛藤栄一委員	是非、お願いします。
下田教育長	年間計画の中に入れるように、位置付けに。先程の資料の中に、社会教育の部分が欠けているので、これを廣瀬社会教育課長に入れてもらうようにしてもらいます。
衛藤栄一委員	すみません。
藤居委員	これは、親はどう関わるのでしょうか。
下田教育長	はい、どうぞ。
山田学校教育課長	親ですか。
藤居委員	学校でキャリア教育をしていただいて、未来を想像するっていうことも大事だと思うのですが、今、うちの中3で。
山田学校教育課長	進路ですね。
藤居委員	中3になって初めて、真剣に向き合うというか、今まで漠然と言って来たから、親子で暗黙の了解はあるのですけど、そんなに今まであまり取り組んでなか

山田学校教育課長	<p>ったと、話しを聞きながら思ったのですが、親の意識っていうか家庭の意識というのもすごく大事ではないかと、話しを聞きながら思いました。地域と家庭と産業界ってこの図にあるように、親がこういうふうにしたいという気持ちもこの中に、大切ではないかと思ったのですが。</p>
	<p>これを実施するにあたっては、いろんな先生が必要になってきます。今、衛藤栄一委員さんが言われたように、農楽校のおじさんとか、今まで小中連携とかコミュニティースクールでは、地域の限られた人材を学校に引き入れて、限られた場面でその人の人生観を出すとかではなくて、学校教育のボランティア的に支援していただくというような立場だったのですが、キャリア教育については商工会を中心とした産業界、当然地域のそうしたマンパワーを小学校1年生から中学校3年生までの、どの分野で何を語ってもらうかと、その出番の一つには親の出番をどこで、例えば小学校のどの場面では親の出番になるか中学校のどの場面が親の出番かというのは今後整理しなければならないと思っております。特に学ぶ意欲というのをこのキャリア教育の中で育てるには、どうしてもどういう思いでそういうことをやっているのかとか、なぜそこを大切に思っているのかをそういう思いもあわせて、経験の中に伝えてもらわないと、なかなか子ども達に落ちるものがない。そうした思いを積み重ねて、中2の職業体験があると、また職業体験のあり方が変わってくるというふうにも考えているところです。ですから、具体的に親がどこまでかかわるかはまだ想定はされていないのですが、そこは当然必要な場面で、そうした部分での地域の先生で、必ずしも千歳小学校の親が千歳に出る必要もない。それが一番いいのでしょうか、コーディネーターを中心にコーディネートできる中で、この話しはそれぞれの学校に行ってやりたいとかいう部分については、来年度以降カリキュラムの中で取り組みを作っていかなければならないと思っております。そこを含めて、カリキュラムの中にそれぞれの出番がどこにあるかを教育委員会の方でも研究して、学校に提示していきたいと思っております。</p>
藤居委員	<p>この中には直接関係ないかもしれないのですが、高校のオープンスクールって中学校3年生になって初めて行くじゃないですか。それは、中学1年生とか2年生でも行くことは可能なのでしょうか。</p>
下田教育長・山田学校教育課長	<p>可能ですね。</p>
藤居委員	<p>可能なのですか。</p>
下田教育長	<p>特に、三重総合高校では、1校でいいのではないのでしょうか、1年生のときは、高校ってどんなところかと。他の高校に目を向けるのは、中3になってからでもということで。三重総合高校は、年間何度も足を運ぶことはできるし、可能だ</p>

藤居委員	<p>と思います。</p> <p>意外と高校について考えるのは、中学校3年生の夏休み終わってから、部活が終わってから、実際本腰を入れるというのを今回すごく実感したのです。やはり、高校って漠然としている。子ども達にとっても、行けるだろうと思っている部分があって、その現実というのを口で説明してもなかなか伝わらなくて、意外と高校に行ってみるといいことではないかと思って、他の方もよく3年生になって初めてオープンスクールというのはいらないなという話を良く聞くのです。もし、皆で三重総合高校に行かせてもらえるのであれば、ありがたいなと思います。</p>
下田教育長	<p>職場体験に関するトータルな実施計画で、事前から事後まで、衛藤栄一委員さんから話しがありましたから、それは具体的に提案するものを作ってください指導主事。社会見学の位置付けも学年がバラバラでなくてトータルでこれもカリキュラムを作るということで、特に千歳小学校にはそれを含めて要請をしますが、これも提案文書を作ってください。それと、山田学校教育課長、キャリア教育がスタートするときから高校との連携は考えないといけないので、これはひとつやってください。家庭への、この教育方針の啓発を含めると全体計画を共有する機会がPTAでいると思うのです。これについて、指示文書を出すようにしてください。自分の学校のキャリア教育の全体計画を、PTAで話すことは必要だと思うので、よろしくお願いします。</p> <p>今、4つありましたが、他にありませんか。</p>
全委員	(声なし)
下田教育長	これに関して、夏休みの件は、いつ教育委員会に提案しますか。
山田学校教育課長	今、学校から意見徴収をしているところです。方向性がでたところで、1月の定例会においてその方向性について、提示できるものと思います。
下田教育長	<p>はい、それを含めて提案してください。</p> <p>では、お帰りになって、気が付くことなどがありましたら、次回教育委員会の場でも教育方針については確認をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p> <p>1時間を経過しましたので、あと議案が2つありますので、ここで一時休憩に入ります。</p> <p style="text-align: right;">(午前10時45分)</p> <p>□□□ 一時休憩 □□□</p> <p style="text-align: center;">～ 指導主事退出 ～</p> <p style="text-align: right;">(午前10時56分開議)</p>

○議事案件

議案第47号 豊後大野市教育委員会行政組織規則の一部改正について

下田教育長	<p>それでは、再開します。議事案件に移ります。 議案第47号 の審議に入ります。 事務局の提案並びに説明を、教育総務課長 お願いします。</p> <p>(教育総務課長が平成29年12月 豊後大野市教育委員会定例会資料により説明) <提案理由> 平成30年度からの豊後大野市教育委員会行政組織変更に伴い、豊後大野市教育委員会行政組織規則の一部並びに関係する規則の一部を改正したいので、豊後大野市教育委員会事務委任規則第2条第6号の規定により、この議案を提出するものである。</p>
下田教育長	<p>ただいま、教育総務課長からの説明がありましたが、簡略に申しあげますと「教育総務」という文言が「学校教育」に換わるということになります。 この件について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。</p>
全委員	<p>(「ありません」の声)</p> <p>[参考資料(組織改正にもなる関係例規)について萩原教育総務課長が追加説明]</p>
下田教育長	<p>それでは、ご質問がないようですので、議案第47号について、委員各位の賛否を求め、採決したいと思います。原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(「はい・異議なし」の声)</p>
下田教育長	<p>異議なしと認めます。議案第47号 豊後大野市教育委員会行政組織規則の一部改正については、原案のとおり決定します。</p>
下田教育長	<p>ここで、意見なのですが、業務の多岐に渡る部分が教育総務課から学校教育課へ移管されます。新たに4月から事業を含めた業務分担については、再度提案しますが、教育次長が配置されますが、調整してできるだけ内部でやっている業務の継続をしてやっていきたいと思っております。行政分野の規則については、明文化することとなるので、全て学校教育課へ移管されます。運用等についてはもう一度、条例改正含め規則改正がされた後、4月定例会時にきちっと業務責任者を決めて、再提案をさせていただくということでお願いをしたいと思います。</p>

議案第48号 平成29年度 豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

下田教育長	<p>続きまして 議案第48号 の審議に入ります。この議案の説明及び審議内容等につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、非公開 秘密会としたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(「はい」の声)</p>
下田教育長	<p>異議なしと認めます。それでは、教育総務課長、学校教育課長のみで審議しますので、後程その他の項がありますので、社会教育課長と場長は一度退席をお願いします。また、学校教育課担当職員の臨席を認めます。それでは、ここで一時休憩に入ります。</p> <p style="text-align: right;">(午前11時16分)</p> <p>□□□ 一時休憩 □□□</p> <p>～ 社会教育課長・担当者退出 ～ ～ 学校教育課長・学校教育課担当職員(深田主幹)入室 ～</p> <p style="text-align: right;">(午前11時18分開議)</p> <p style="text-align: center;">(非公開・秘密会) 開始</p> <p>※審査時は、教育総務課長、学校教育課長、学校教育課担当職員のみ臨席した。 ※審議結果は、審査対象者1名のうち、認定1名、不認定・保留なしであった。</p> <p style="text-align: center;">(非公開・秘密会) 終了</p> <p style="text-align: right;">(午前11時29分休憩)</p> <p>□□□ 一時休憩 □□□</p> <p>～ 学校教育課担当職員(深田主幹)退出 ～ ～学校給食調理場長・担当者・社会教育課長 入室 ～</p> <p style="text-align: right;">(午前11時30分開議)</p> <p>それでは、開議します。</p>
下田教育長	

7 その他

下田教育長	<p>それでは、その他に入ります。 最初に、準備されている項目から入りたいと思います。 それでよろしいですか。</p>
全委員	<p>(「はい」の声)</p>

下田教育長	<p>順次、説明・報告をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <p>・ 12月市議会定例会における一般質問について (別紙当日配付した資料により、萩原教育総務課長が説明する。)</p> <p>・ 豊後大野市スポーツ推進計画策定状況について (口頭にて、廣瀬社会教育課長が説明する。)</p> <p>・ 豊後大野市民生委員推薦会委員の選任について (別紙当日配付した資料により、麻生が説明する。)</p>
下田教育長	<p>それでは、12月市議会定例会における一般質問についての特に質問等 何かございましたら お願いします。</p>
全委員	<p>(「ありません」の声)</p>
下田教育長	<p>よろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(「はい」の声)</p>
下田教育長	<p>(教育)委員会の位置付けについては、一度お読みください。レイマンコントロールの維持について、立場については確認をしておいてください。</p>
下田教育長	<p>豊後大野市スポーツ推進計画の中身については、全く分からないわけですね。</p>
廣瀬社会教育課長	<p>12月27日にかける分として準備していますので。</p>
下田教育長	<p>それか、27日の素案ができたものをお送りさせていただき、次の委員会までにお読みいただくということでもいいですかね。</p>
廣瀬社会教育課長	<p>はい。そうさせていただきます。</p>
下田教育長	<p>それでよろしいですか。</p>
全委員	<p>(「はい」の声)</p>
下田教育長	<p>特に、市スポーツ推進計画について、何かあれば。</p> <p>(声なし)</p>
下田教育長	<p>いいですか。</p>

衛藤栄一委員	指導者のことについてです。スポーツ少年団の指導者の方もいらっしゃるし、小中学校の部活動の指導者の方もいらっしゃるし、頑張られている方もいらっしゃるのですが、スポーツ少年団としてはやっている。部活動としては、やっているかもしれませんが、リーダーシップ研修みたいなやった方がいいかと思います。
廣瀬社会教育課長	スポーツ少年団としては、スポーツ少年団に登録されている方でやっています。
衛藤栄一委員	やっていますよね。 学校の部外指導者については、やられているのでしょうか。
山田学校教育課長	していません。
衛藤栄一委員	一応、やっていた方がいいかと、体罰の問題とかがありますし、安全管理等もありますので、できれば書面にて、こういうふうな形でお願いしやすぐらいはやっていいかと思います。ニュース等で最近部外指導者の方が問題を起こした報道を耳にするので、そういうのを一度も見直した方がいいかと思ひまして、部外指導者に関しても確かな方がされていると思うのですが、情報として確認をした方がいいのかと思います。指導されている方を、こちら側が知らないことが現状としてあるのではないかと。すごく年齢の高い方が、部外指導をされていて、頭が下がる思いをしているのですが、できればそういう方が目の目が当たることを祈りつつ、よろしくお願ひします。
下田教育長	これは、4月か5月ぐらいに実施する方向で、学校教育課長さん検討を、お願ひの会に併せて研修をすることで。
山田学校教育課長	来年度、部活動検討委員会を立ち上げて、ガイドラインを策定する予定にしています。その中で、課題はやはり外部指導者のこと、それから合同部活動のこと、それと教員の指導のことを課題にしております。そのことも含めて、まず委員さんの言われた形の外部指導者が決定した段階で、早めに教育委員会としての研修会を実施したいと思います。はい、ありがとうございました。
衛藤栄一委員	お願ひします。
下田教育長	では、27日を受けて、素案を配付するというので、よろしくお願ひしておきます。豊後大野市民生委員推薦会委員の選任についてですが、今日で任期終了ということで、藤居委員さんでしたがどうでしょうか。
	(教育委員にて協議を行い、藤居委員さんの再任となった。教育委員としての任期が終了した際には、再度協議することとなった。)
下田教育長	事務局からその他にありますか。

(事務局)	ありません。
佐藤委員	教育長、よろしいですか。私からひとつ。
下田教育長	はい、どうぞ。
佐藤委員	先程、教育長の方から諸報告の件で、皆さんにできるだけ資料を提示するようにと話しがありましたが、それがあるので、なかなか言い難いのですが、負担をかけるかなと思っているのですが、可能であれば検討していただければと思っております。諸報告の資料が、当日配られておるので、1週間前に案内が来て、いろんな資料の分があるのですが、もしそれが負担になるようであれば、現状で結構なのですが、可能であれば1週間前に案内が来たときに、各課の報告を含めて分が配られれば、我々への当日のいろいろな説明も軽減できるかなと思っておりますので、いかがでしょうか。
萩原教育総務課長	満足されない資料になるかもしれませんが、できるだけ資料はそろえたいと思います。
佐藤委員	そうしてもらえれば、助かります。
萩原教育総務課長	そのために作る資料もあるかもしれませんが、ある程度あったことの手持ちであると思いますので、そういう資料を出してもらう形になるかもしれませんが。
佐藤委員	当日の資料も減ってくるかと思っておりますので。 はい、分かりました。
下田教育長	では、是非そういう方向で、事前に、1週間前までの報告事項でいいと思えます。行った分のパンフレットとかがあれば、一緒に入れておくと、あらためて作らなくて、そのとき使ったものをそのまま代用して、当日それを少し詳しく説明をするようにしたら、新しく作るとまた負担もかかるでしょうから、既存の資料と一緒に同封するというので、お願いします。 せつかくですから、他はいいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	それでは、連絡調整に移ります。

8 連絡調整

○ 1月定例会の日程調整

下田教育長	萩原教育総務課長、お願いします。
-------	------------------

萩原教育総務課長	はい、それでは提案させていただきます。 1月定例会につきましては、1月26日 金曜日 午前9時30分から開催したいと考えています。 それでは、1月定例会について、ご協議の程、よろしくお願いします。
下田教育長	ただいま、教育総務課長より提案がありました。1月定例会の件については、委員の皆さん方どうでしょうか。 ===== 委員と事務局とで調整を行う =====
下田教育長	では、1月定例会については、1月26日 金曜日 午前9時30分からの開催でよろしいですか。
全委員	(「はい。良いです。」の声)

9 閉会

下田教育長	それでは、これをもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。 平成29年12月 豊後大野市教育委員会定例会を閉会いたします。 お疲れ様でした。 (午前11時49分閉会)
-------	--